

# FUKUCHI

Public  
Relations

No.156  
December

広報ふくち

2018  
12

特集

## 継ぐ

Tsu

Gu

千二百年の歴史を背負い  
受け継がれてきた伝統  
つながれていく思い







## アサヒマイ のぼる朝日のように颯爽と 神職のための「朝日舞」

神社本庁が定めた神職が舞うための祭祀舞の一つ。主に男性が舞うことを想定し、勇壮な力強い動きが特徴。歌詞には神前に向かう心構えと感謝が込められている。



↑地域の子どもたちは舞の練習のため夜も稲荷神社に集まる。神幸祭期間中、本殿入口は神の通り道として開けられている。



## 地域の鎮守の神にささげてきた感謝

一つの伝統を生み出した  
母と娘がつなぐ二つの舞

ゆつくりと、力強いその動きが周囲に厳かな空気を漂わせる——。10月20日、毎年決められたその日、千二百年の歴史を持つとされる金田稲荷神社にとって最も重要な祭礼「例大祭」が執り行われます。そこでたった一度だけ舞われる「朝日舞」。本殿で息を呑み見守る関係者の前で、神職だけに許されたその舞を奉納したのは宮司の娘・阿部見知子さん。東京の神社本庁に勤め、毎年この祭りに合わせて帰省しています。

かつて見知子さんが奉納したもう一つの舞があります。今では地域の小中高生が披露し、神事で親しまれている巫女舞。「豊栄舞」と呼ばれるその舞は、14年前、福岡県の祭祀舞の指導も行う母・大美さんの指導のもと、見知子さんによって初めて奉納された舞でした。神事の簡素化が進む中、儀式本来の姿を目指し、母と娘が始めたその舞は、今では一つの伝統を形作っています。

この二つの舞は、まさに神への奉納。祭りの語源は神仏へのささげ物を表す「奉る・祀る」に由来すると伝えられています。太古よりさまざま



↑かつては巫女舞をつとめた見知子さんも、今では神職として祭りに臨む。奉納された朝日舞は、10月20日の稲荷神社の例祭で、ただ一度だけ舞われる。



## 恵みと命への感謝を込めた 乙女たちによる「豊栄舞」

神社本庁制定の祭祀舞の一つで女性が舞うことを想定し「乙女舞」とも呼ばれる。町内では毎年地域の学生が募集され、今年は飯土井神社で小学生6人、稲荷神社では中高生5人が舞を奉納した。

トヨサカノマイ

# 「思い」がつなぐ 継ぎゆく「伝統」

金田のすべての地区が待ちわびる秋祭り。そこには古からの「生きることへの思い」が込められている。時を越えても変わらない「祈り」「感謝」「願い」——地域生活に密着した祭りに宿る「思い」を追った。

伝統はなぜ継がれるのか





祭人の声

## 山笠制作に魅せられて

町部山笠(剪定士)  
兼本 修 さん

若い頃は全く祭りに興味がありませんでしたが、地域の役員がきっかけで山笠制作を手伝うようになりました。今では山笠の杉壁は全て私が作っています。やはり、ここに囃子方が乗った姿を見るとうれしいですね。一つの山笠を心一つに作り上げる。そんな関わりや楽しみもあるんですよ。



←「ここに気づいてもらえたらうれしい」。兼本さんのこだわりは竹を削り描く模様。

→ 囃子方が長時間足をかける杉壁。丁寧に滑らかに仕上げる。



農耕を主とする我が国は、季節ごとの「祈り」と生きてきました。春は豊作を祈り、夏は害虫被害や水害よけを願い、秋は収穫に感謝し、冬は一年の無事を喜び、生きる力を蓄える。移ろう四季それぞれに思いがあり、それが祭りという形で今に受け継がれています。収穫への感謝を込めた秋の神幸祭。豊作の喜びと健康への感謝を地域ごとで祝うのがこの神幸祭であり、山笠、獅子舞、巫女舞などの神事が奉納されます。生活に密着している祭りだからこそ、人々の心を動かし、絶えず地域の楽しみであり続けているのです。

飯土井神社と稲荷神社の両神事を担う阿部重信宮司は、「山笠の華やかさに目を奪われがちですが、神事には全て行う理由があります。先人たちが大切にしてきた思いを感じ、祭りに携わる全員が伝統をつないでいる自覚をさらに共有してほしい」と力を込めました。かつて囃子方は、学校の早退もできた神幸祭。しかし今は少子化による担い手不足など、時代に合わせてその姿は変化しています。それでも祭りはどんなに厳しい社会情勢の中でも続き、幾度もの困難や途絶の危機を乗り越え、今に至っています。人の思いがつかないできた伝統は、かけがえない守るべきものとして、地域に根付いています。



神事一つひとつに理由がある。

神幸祭と伝統の神事

# 込められた「祈り」

山々が紅く色づき始め、稲穂実る10月。金田・神崎地区では2週にわたり2つの神社の神幸祭が行われ、地域は祭り一色に染まる。囃子の音色が響く中、獅子が舞い、豪華絢爛な山笠が町内を練り歩く。「五穀豊穡」「無病息災」。その伝統にはいつの時代も変わらない人々の祈りが込められている。

## 先人から継ぐ命への感謝

やまかさ  
山笠

**福** 智の山笠は城の屋根のような破風が特徴で「屋形創り」と呼ばれる。以前は稲穂をかたどった馬簾が飾られていたが、時代とともに博多などの影響を受け豪華な人形山となり、祭りを彩っている。



旗持ち行列

**参** 勤交代の大名行列を模した行列が神輿につきそう。本来は槍や弓、旗など約50人の順番があるが、今では進みやすいように調整されている。赤・青の鬼が先導し、鬼に泣く子どもは強く育つとされる。



みこし  
神輿

**神** 輿は神が各地域を巡行する乗り物の役目を担う。神社から御旅所までの行程を「お下り」その逆を「お上り」と呼ぶ。宮司が神輿に神をのせる儀式では周囲を隠し「見た者は目が腐る」と伝えられている。



ししまい  
獅子舞

**雄** 獅子と雌獅子の2体での舞い。稲荷神社神幸祭では稚児舞とともに氏子である金田一区の青年が神社と御旅所で奉納する。獅子は邪気を食べるとされ、子の成長を願い、頭を獅子にかませるのが恒例。



↑戦後間もない頃、材料不足の中、松の木1本だけで建立した山笠。





【囃子指導者：岩井義則】演奏歴70年以上、主に町部や宝見地区で指導を行う町内最古参の囃子指導者の一人。笛を吹けなくなり、第一線を退いた今も、受け継ぎ体に刻み続けてきた鼓動を子どもたちに伝える。



↑今は息子の久幸さんが実技指導を担う。「まずはうまい人を見なさい」との岩井さんの言葉に従い、若者たちは真剣なまなざしでその指使いを追う。

京 都の屋形山に由来し、博多祇園山笠の流れをくむ福智山笠最大の特徴は、合戦絵巻を表す勇壮な武者人形たち。初代・富田八十六氏が一代で築きあげ、今にも動き出しそうな形相の力強い作風で町内外から愛されています。その「富田人形」の三代目棟梁・能央さん（弁城）、祖父の技をつなぐ一人です。人形作りを稼業とする家系ですが、一度は別の仕事に就いた能央さん。しかし二代目の父・泰昌氏と祖父を続けて亡くしたことから稼業を守ることを決意し、24歳にして現場を取り仕切る棟梁となりました。



↑神幸祭の日は、必ず指導する町部の山笠を見に行く岩井さん。弟子たちから敬意を込めて「大師匠」呼ばれる岩井さんの姿に、思わず笛の手も止まる。

場合もあります。「囃子方はいつでも祭りの花形。見て、聞いて、練習を重ねた者だけが上手くなる。私も早く山笠に乗るため、必死に練習したものですよ」と笛を手に励む子どもたちを見つめました。



↑まとめた冊子には、各曲の出だしの笛の押さえ方や太鼓を打つタイミングなどが細かく記されている。時折それを見返し、再確認を怠らない。

受け継いできたこの囃子を  
絶やさず正確に伝えたい。



「囃子の音色を聞くと、誰もが祭りを思い起こす。笛が先導し、太鼓と鉦がリズムを刻んでいく」。祭りに欠かせないこの旋律を指導者として後世に伝えてきた岩井喜則さん。金田本町で生まれ、幼少時から囃子に親しみ、72歳まで現役を続けました。今は第一線を退きましたが、要所を押さえた的確な指導で尊敬を集めています。楽譜のない囃子は「口伝」が伝統。鉦から始まり、小太鼓、大太鼓、笛と段階を経て、全て習得するまでに10年以上かかる

習い伝わった伝統の旋律を  
変わらない音色で次の世代へつなぐ

囃子

【岩井喜則】

Yoshinori Iwai



↑先代までは無かった鉄砲を持つ人形なども制作。配置にも細心の注意を払い、山笠全体で物語をつむいでいく。



↑「じいちゃん、とうちゃんともっと仕事をしてみたかったですね」。今では2人の技を伝えるのは残された人形のみ。対話するように観察し技を学びとる。

常に時代を見据え  
変化を目指しています。



↑初代から伝わる、飾りや人形の部品を切るためのたがね。同じものは今では作れず、補修を繰り返し打ち込んでいる。

今年、自身も「名誉なこと」と語る博多地区での展示も実現するなど、活動の幅を広げた能央さん。「祖父が残した技術、父が大切にされた地域や職人との信頼の上に今の富田人形がある。年々山笠を建立する地区が減る中で、人と人をつなぐ力を持つ祭りに人形師として力になりたい」とさらなる成長を誓いました。時代と向き合い、新たな作風を模索する挑戦は続きます。

富田人形の命は顔。

じいちゃんが生涯をかけ  
築いた技と魂を守りたい。



【人形師：富田能央】幼少時から稼業を手伝い、基礎的な技術を学ぶ。一度は別の道を志したが、9年前に再度人形と向き合うことを決意。若い感性と妥協を許さない向上心で、日々新たな作品を生む三代目棟梁。

人形師

【富田能央】

Yoshihisa Tomita

魂受け継ぎ現代感覚で革新目指す  
伝統守る富田人形の若き三代目





伝統を曲げてでも残したい慣例  
熱い思いが創り上げた金色の競演

金田・神崎山笠競演会

# そこに「思い」があるならば

## 山笠存続の危機 絶やさないための選択

電飾輝く華麗な山笠が集結する「金田・神崎山笠競演会」。2週間の祭りを締めくくるとこの催しにも、伝統をつなぐための決断と関係者の熱い思いが込められていました。昔から神幸祭を終えた金田各地区は、山笠を激しく上下させながら回転する「練り回し」を競うことが慣例でした。その格好の会場が平成筑豊鉄道金田駅前の広場。しかし「駅前」と呼ばれたその会場で、若いエネルギーがぶつかり合う競演は負傷者も多く、



く、広場が公道に整備された後は警察との衝突も絶えませんでした。そして昭和61年、その悲劇は起きてしまいます。駅前を立て続けに起きた死亡事故。そこから一度山笠建立は途絶え、数年後に再興した後も隔年の建立となるなど、祭りの火は消えつつありました。

各地区の代表者たちは、事故の原因は明確なルールと適した競演の場が無いことと考え、計画的な競演の実施を発案します。＼



しかし、一度御旅所に奉納した山笠は夜12時までの待機が伝統。2日間の競演には反対もありました。相談を受けた阿部宮司は「奉納した山笠を集めて見せ物にするのは正しい神幸祭ではないとの批判もあった。しかしその根底には祭りを絶やしたくないという熱意がある。その思いがあるならば、新しい挑戦を見守りたいと思います」と振り返ります。その後も関係者の説得を続け、平成10年、ついに初の山笠競演が実現したのです。

## 積み重ねて新たな伝統へ 現代の「駅前」の誕生

4年目には町からの支援も決定し、競演会は公式にイベントとしてのスタートを切りました。神崎地区の山笠の参加も積極的を受け入れ、進化を続けて17回。今では町の欠かせない観光資源の一つにもなっています。そして自主開催の3年を含め20年目の競演となった今年、電飾山笠全10基が同じ時間・同じ会場に初めて集結。イベント発足時から尽力してきた池田昇事務局長は「この光景をずっと思い描いていた。行事も30年続けば伝統と言われる。このイベントを新たな伝統にしたい」と目を



↑競演会の熱気がまだ冷めない中、各地区代表の実行委員は会場の片付けにあたった。

細めました。開催前には各地区代表と組織的に安全管理の徹底を協議し、事故から30年以上死者を出すこと無く、今日を迎える山笠競演会。祭りへの愛が創り上げた「練り回し」の会場は、今の若者たちにとって年に一度、思いをぶつけることができる現代の「駅前」であり続けています。



↑過去の事故を教訓に、今では多くの山笠の下部には巻き込み防止の板が取り付けられている。

## 憧れを形にした山笠

南陽会(神崎)  
有藤 義行 会長



子どもの頃、山笠の無い私たちの地区はいつも祭りに憧れを抱いていました。太陽と南木地区が合同で南陽会を発足し、手探りで12年。2年に1度の参加ですが、その分強い思いが私たちにはあります。競演会があるからこそできたこの山笠を守り続けます。



←待ちわびた山笠建立に向け、仕事の合間での作業は前日深夜まで続く。





継がれてきた伝統が、地域のつながりをさらに強めていく。数か月かけて丹精込めて作り上げた山笠も、解体が始まると半日で華麗な姿を消す。それでも関わる人々はさびしさを胸にしまい、作業を終えるとまた日常へと戻っていく。祭りのあとも消えずに残る大切なものがある。共有できる思い出、ともにした時間が生んだつながり、支えてくれる地域への感謝――。それらを胸に人々は前を向き、また次の祭りに思いをはせる。



↑ 無事競演会も終わり、法被姿での最後の夜。地域をあげての囃らんは、日付が変わるまで続いた。

祭りの声

離れて感じる温かみ



上金田山笠  
森野 大地 さん

5年前から仕事で県外に出ていますが、神幸祭の日だけは必ず帰ってきます。就職初年に始めて参加できなかった後悔は今も忘れません。一年に一度しか会わなくても、昨日会ったかのように受け入れてもらえる。地域の温かさを祭りの度に感じています。



← 笛の練習は当日のみ。しかし一度耳についた囃子は指先で覚えている。



↑ 町の文化祭では11月3日から2日間、各地区の法被(はっぴ)や神幸祭の写真を展示。子どもたちは自分の地区を誇らしげに探していた。



↑ 池田事務局長(写真右)が山笠の成り立ちや祭りに込める思いを、阿部宮司が神幸祭の歴史を担当し分かりやすい表現で解説。



# つなぐ「願い」

交差する伝統と地域のつながり

縦につないできた伝統が地域のつながりを横へと広げる。かけがえない祭りが、地域を未来へとつなげていく。

## 祭りが伝える感謝の心 地域と伝統を次の世代へ

「秋祭りは『ありがとう』の祭り。みんなも感謝の気持ちを忘れないで」。池田事務局長が優しく語りかけると、児童は笑顔で応えました。神幸祭を終えた11月14日、金田小3年生78人に向けた「祭り」の授業。

「楽しむだけではない、祭り本来の意味が薄れないよう伝えていきます。我々が子どもの頃感じた祭りへの憧れは今の子どもと同じ。次の世代に伝統の思いを受け継ぎ続けてほしい」。地域のことを学ぶ課外活動の中で、一番関心の高かった「祭り」が授業内容として選ばれ、今年で8回目。池田事務局長と阿部宮司、長年祭りを見つめ続けてきた2人の講師の説明に、児童は目を輝かせて聞き入りました。年齢問わず愛される最大の地域行事である祭りは、いつの時代も子どもたちの心を強く引きつけます。コミュニティ内の人と人とのつながりが希薄になり、地域の課題を地域で解決していく地域力が求められる中、「祭り」が残る地域は人口が減ってもつ

ながりが強いと言います。参加した全員が、意識しなくても伝統を担う一員、そして自らが暮らす地域の一員です。命への感謝、つながりへの感謝、祭りを支えてくれる人たちへの感謝、そしてまた祭りができる事への感謝――。この祭りで分かち合える大切なものを次代へとつなげる。そんな地域の人々の願いをのせ、またあの囃子の音とともに、祭りの日はやって来ます。



↑→ 神崎の神幸祭では山笠5基が町内の老人ホームを訪問。入所者は聞き慣れた懐かしい囃子に思わず手拍子を送る。



祭りの声

この地域で祭りと生きて



上金田婦人会  
辰島トシ子 さん

この地域で生まれて90年、幼い頃から祭りはいつもそばにありました。今は若い人は共働きも多く、地域での協力は必ず必要です。祭りはみんなで作り上げ、みんなで支えるもの。婦人会でも最高齢になりましたが、できることはなんでもしたいと思います。

→ 神幸祭の当日、婦人会が準備した130人分の料理が疲れを癒やした。





平原

【参加】

稲荷神社神幸祭  
金田・神崎山笠競演会



人見

【参加】

稲荷神社神幸祭  
金田・神崎山笠競演会



宝見

【参加】

稲荷神社神幸祭  
金田・神崎山笠競演会



町部

【参加】

稲荷神社神幸祭  
金田・神崎山笠競演会



上金田

【参加】

稲荷神社神幸祭  
金田・神崎山笠競演会



金田区

【参加】

稲荷神社神幸祭  
金田・神崎山笠競演会



南陽会

【参加】

金田・神崎山笠競演会



神崎  
子ども山笠

【参加】

飯土井神社神幸祭  
金田・神崎山笠競演会



神崎  
四区

【参加】

飯土井神社神幸祭  
金田・神崎山笠競演会  
(垣田山笠愛好会として参加)



神崎  
三区

【参加】

飯土井神社神幸祭



神崎  
二区

【参加】

飯土井神社神幸祭  
金田・神崎山笠競演会  
(神崎二山笠愛好会として参加)



神崎  
一区

【参加】

飯土井神社神幸祭



金田／神崎

山

KOUZAKI —→ KANADA

YAMAKASA Festival

金田・神崎山笠全基総覧

10.13-14 —→ 10.20-21

金田・神崎両地区から各6基の山笠が町を練り歩き、地域を祭り一色に染めた秋の神幸祭。紙面上だからこそ実現した、山笠全基一挙公開。

笠

12

Yamakasa  
of Fukuchi

基一挙紹介



●金田・神崎山笠競演会

イベントパークに過去最多の10基が集結。東西に別れ10分間で会場を沸かせました。

豪

華絢爛、勇壮華麗。各地区が一心に建てた思いが宿り、それぞれの個性を豊かに表した山笠たち。最大で高さ10mにもおよぶ本体に据えられた色彩豊かな装飾と暗闇を照らす電飾の光。昼夜で違う姿を見せるその威容は、見るもの全てを魅了しました。



●稲荷神社神幸祭

神事を神社下で静かに見守る山笠。獅子舞・稚児舞とともに6基が祭りを彩りました。



●飯土井神社神幸祭

行列を先頭に村回りを終え、13日夜は御旅所で電飾山笠5基が競演。



お知らせ

平成30年度 コミュニティ助成事業報告



## 金田稲荷奉納獅子楽 宝くじ助成で備品整備

問 まちづくり総合政策課 政策推進係 ☎ 22-7766



伝統の「獅子楽」は地域の誇りとして地区住民が保存に努めています。

コミュニティ助成事業を活用し、町指定無形民俗文化財「金田稲荷神社神幸祭」で奉納する金田1区獅子楽の獅子頭や獅子衣装を含むその他備品を整備しました。この事業は一般財団法人自治総合センターが宝くじの収益を財源に、地域活動の充実および強化を目的に助成しています。

ご案内

平成30年度 福智町成人式



## 人生の門出祝福する 一生に一度の晴れ舞台

問 生涯学習課 社会教育係 ☎ 22-1521



←なつかしいあの頃の思い出話に花を咲かせませんか。対象者には11月に案内状を送付しています。参加予定で届いていない人はご連絡ください。

新 成人への祝福と期待を込めた「福智町成人式」を次のとおり開催します。人生に一度の晴れの門出の場、ぜひ会場にお集まりください。

- ▶ 日時 **1月13日 日 13時受付・14時開式**
- ▶ 場所 地域交流センター（伊方4480-1）
- ▶ 対象 H10.4.2～H11.4.1生まれで、町内に住民票がある人および福智町出身者。

ニュース

平成30年度 福智町敬老会



## 千人以上のご長寿に 多彩な舞台で敬老祝う

問 福祉課 福祉係 ☎ 22-7763

敬老会が10月27日に金田体育館で開催され、長年地域を支える健康長寿のみなさんに祝辞が贈られました。多彩なアトラクションでは高齢者体操や県立大生の寸劇、保育園児や文化連盟のステージなどを披露。ラストも商品券が当たる抽選会で会場は大いに盛り上がりを見せました。



←昨年よりおよそ2百人多い1千人以上の70歳以上の方々が埋まった敬老会会場。

募集中

平成30年度 冬季少年のバス



## 町にない雪の大自然で 生きる力を育む体験

問 生涯学習課 社会教育係 ☎ 22-1521

大自然での体験学習に参加しませんか。詳細は12月に学校配布するチラシでご確認を。

- ▶ 日時 **2月8日 金～10日 日（2泊3日）**
- ▶ 場所 広島県やわたハイランド191リゾート
- ▶ 対象 町内の小学5年生～中学2年生
- ▶ 申込書 12月18日 日 まで生涯学習課に提出
- ▶ 事前研修 1月14日 日（成人の日）参加必須



←一面真っ白なゲレンデでのスキーや集団生活を通して貴重な体験を。

ニュース

平成筑豊鉄道車内で就活列車



## へいちくで地元5社 4高校生徒に入社説明

問 総務課 庶務係 ☎ 22-0555



←嶋野町長の「列車で自分と故郷の未来図を描いて」との呼びかけに応える参加者たち。

平成筑豊鉄道の電車で揺られながら沿線企業の説明を聞く「就活列車」が10月23日に田川伊田～直方駅間を運行しました。田川公共職業安定所、福岡労働局、田川市、福智町が企画し、今年で4回目。田川地域の4高校から約50人が参加し、5社の説明に聞き入っていました。

ニュース

福岡県麦作共励会表彰



## 麦作技術が評価され 金田ファームに優良賞

問 農政課 農政係 ☎ 22-7767



←町長に報告し、生産技術と品質向上が評価された金田ファームのみなさん。

農 事組合法人の「福智金田ファーム」（桑野実次組合長）が福岡県麦作共励会表彰の集団の部で優良賞を受賞し、11月7日に嶋野町長に報告しました。麦の生産量や品質の向上に取り組み、肥料のやり方や育て方を農協や普及所の指導を受けながら改善してきた「福智金田ファーム」。手がけた麦のタンパク質の含有量を2%以上向上させた実績が、高く評価されました。

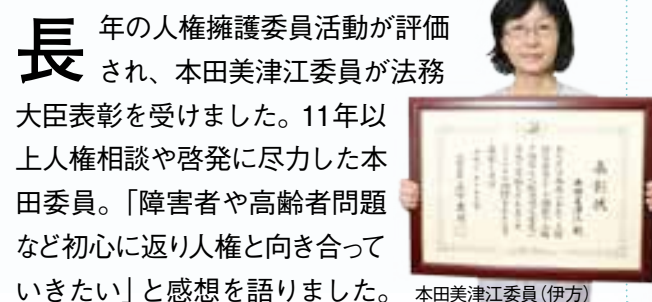
ニュース

人権擁護委員表彰



## 本田美津江委員の活動 功績に法務大臣表彰

問 人権・同和対策課 人権・同和対策係 ☎ 22-7764



長 年の人権擁護委員活動が評価され、本田美津江委員が法務大臣表彰を受けました。11年以上人権相談や啓発に尽力した本田委員。「障害者や高齢者問題など初心に返り人権と向き合っていきたい」と感想を語りました。

本田美津江委員（伊方）

ニュース

都道府県市町村議会議員総務大臣表彰



## 議員歴最長の安永議員 に総務大臣感謝状

問 福智町議会事務局 ☎ 22-7772



←福智町議会で議員歴最長の安永議員（上野写真右、総務大臣の感謝状を手に長い議員歴を振り返りました。

昭和58年に旧赤池町議となって以来、35年以上に渡り、町議として地方自治に寄与された安永栄一議員に総務大臣からの感謝状が贈られました。賞状を手渡した嶋野町長が、旧町からの長年の功労を讃え、感謝の意を伝えました。

お知らせ

水道管等の寒さ対策のお願い



## 寒さ厳しくなる前に 水道管凍結対策を

問 水道課 工務係 ☎ 22-7769

寒 くなると、水道管の水が凍って出なくなったり、水道管が破裂する危険があります。露出した水道管を保温チューブとビニールテープで巻くなど、各家庭での寒さ対策をお願いします。





【12月の休館日】  
 1日(土) 4日(火) 11日(火)  
 18日(火) 25日(火)  
 28日(金)～31日(月)  
 年始は1月4日(金)まで休館です。  
 ※休館中の本の返却は、正面玄関入り口横  
 の返却用ブックポストをご利用ください。  
 【開館時間変更のお知らせ】  
 1月5日(土) 10:30-17:00

## ふくちのちイベント

- ◆児童生徒の人権作品展  
12/5(水)～12/10(月)
- ◆大人の折り紙教室  
12/5(水) 10:10-12:00
- ◆おはなし会 乳幼児向け  
12/6(木) 11:00-11:30
- ◆WEEKEND FLOWER  
12/8(土) 10:00- (限定40本)
- ◆ぶらんこさんのおはなし会  
12/8(土) 11:00-11:30
- ◆上映会 大人向け  
「大統領の料理人」  
12/8(土) 14:00-15:50
- ◆おはなし会 子ども向け  
12/9(日) 14:00-15:00
- ◆わらべうたと絵本でうたって  
あそぼう 乳幼児向け NEW  
12/13(木) 11:00-11:30
- ◆上映会 子ども向け  
「フランダースの犬」  
12/15(土) 14:00-15:40
- ◆おはなし会 乳幼児向け  
12/20(木) 11:00-11:30
- ◆おはなし会 子ども向け  
12/23(日) 14:00-15:00
- ◆子どもの折り紙教室  
12/24(月) 11:00-12:00
- ◆特別上映会 子ども向け  
「おしりたんてい」  
12/27(木) 11:00-11:30

☎ 要申込



福智町図書館・歴史資料館

ふくちのち

開館時間 10:00-19:00

福智町赤池 970-2

☎ 28-2855

### 段ボールワークショップ ☎

ハンドルを回すと動く  
おもちゃ作り

日時▶ 12月23日(日) 13:30～14:30

対象▶ 小学生以上(定員15人)

※低学年は保護者同伴

参加費▶ 200円

場所▶ 1階ものづくりラボ

ワークショップのほかに、ワクワク広場に  
期間限定で段ボールの机や遊具などが出現!



←写真は見本です。実際は  
異なるものを作ります。

### 冬休み工作チャレンジ 無料 ☎

デコパージュ石けんづくり

日時▶ 12月26日(水) ① 13:30～ ② 15:00～

対象▶ どなたでも(定員各10人)

※未就学児は保護者同伴

場所▶ 1階ものづくりラボ



### 願いごとを絵馬にのせよう 無料

お正月に向けて「絵馬づくり」

日時▶ 12月27日(木) 13:30～

対象▶ どなたでも(定員30人)

※未就学児は保護者同伴

場所▶ 1階ものづくりラボ



当日受付 当日13:00から  
受付開始します。



ビブリオバトルがふくちのちで開催され  
弁城小5・6年生、金田中2年生の  
「チャンプ本」が決定しました!

佐伯 そら さん(弁城小5年生)  
チャンプ本: 星座の神話伝説大図鑑

久富 こう さん(弁城小6年生)  
チャンプ本: ギネス世界記録 2017



高山 叶誠 さん(金田中2年)  
チャンプ本: 驚異の未来生物

# 12月イベント情報



### ★冬の食育講座★冬野菜を使ってカゼ予防 ☎

ピザトースト&クリームシチュー作り

日時▶ 12月15日(土) 11:00～13:00

対象▶ 小学生3年生～高校生(定員8人)

参加費▶ 300円

場所▶ 1階クッキングラボ

※アレルギーのある人は申し込みの際に  
お伝えください。  
※料理教室の食材は写真と異なります。



### クリスマスソングなどを披露

田川合唱団クリスマスコンサート

日時▶ 12月16日(日) 13:30～14:15

場所▶ 1階ワクワク広場



### 北九州イノベーションギャラリー共催 ☎

ペン&めがねスタンドを作ろう!

日時▶ 12月22日(土)

① 11:00～ ② 13:30～ ③ 14:30～

対象▶ 小学生～大人(各6人)

※低学年は保護者同伴

参加費▶ 200円

場所▶ 1階ものづくりラボ

レーザーカッターでステキなデザインに!



### キリスト教関連資料などを展示

キリシタンと福智展

日時▶ 12月5日(水)～1月28日(月)

場所▶ 1階企画展示室

久留守池付近で見つかった「大吉銘柄鏡」など  
町が所蔵するキリスト教  
関連資料を展示します!



### クラモト花店さんが丁寧に指導 ☎

クリスマスリースづくり

日時▶ 12月8日(土) 13:30～14:30

対象▶ 小学生以上(定員10人)

※低学年は保護者同伴

参加費▶ 1000円

場所▶ 1階ものづくりラボ

世界にひとつだけの  
オリジナルリースを作成



### ふくちのちワークショップ 無料 ☎

紙でクリスマスリースづくり

日時▶ 12月9日(日) 10:30～12:00

定員▶ 20人

場所▶ 1階ワクワク広場



認知症の脳もよみがえる  
頭の体操  
川島 隆太/著(アチーブメント出版)

エアコン1台で心地よい  
家をつくる方法  
西郷 徹也/監修(エクスナレッジ)

あいうえおりょうり  
めしあがれ  
accototo/著(イースト・プレス)

ノラネコぐんだん  
おばけのやま  
工藤 ノリコ/著(白泉社)



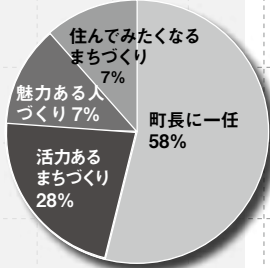


## 06 ふるさと納税

### 約17億8千万円を基金に積み立て

平成29年度寄付金額で福岡県内第1位となった福智町のふるさと納税。前年度を4億円上回る約17億5千万円の寄付金と前年度3月末分の寄付金約3千5百万円を基金に積み立てました。寄付者が選択した4種類の使い道ごとに、既存の各基金に積み立てています。

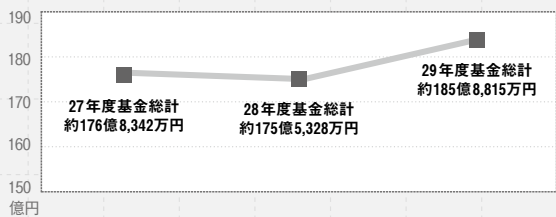
| 基金名       | 積立金額       |
|-----------|------------|
| 減債基金      | 441万円      |
| ふるさとづくり基金 | 7,936万円    |
| 地域振興基金    | 13億6,533万円 |
| 福祉基金      | 1億6,911万円  |
| 公共施設整備基金  | 1億6,911万円  |



## 05 基金（普通会計）

### 町の貯金残高は約185億8千万円

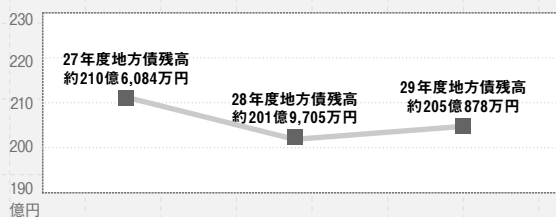
法律や条例に基づいて設置される「基金」は、特定の目的に活用できる町の貯金です。普通会計では23の基金があり、29年度末の残高は前年度比より12億9千万円増え約185億8千万円。ふるさと納税など27億4千万円を積み立てましたが、公債費2億円、ふるさと納税関連経費として12億円など計14億4千万円を取り崩しました。



## 04 地方債（普通会計）

### 町の借金残高は約205億9百万円

年度を越えて元利を償還する借入金を「地方債」といいます。これは家計でいえばローンになります。29年度末の残高は28年度末から約3億1千2百万円増加し、約205億9百万円となっています。このため、借金減少に向けて事業効果を十分に検討し、慎重な地方債発行を行わなければなりません。



## 03 特別会計

### 診療所会計の赤字額が増大

特定事業の特別会計では、国保会計と診療所会計で計4億5千4百万円の赤字となっています。一般会計から国保会計に2千万円の赤字補填を行なったため、実質の赤字額は4億7千4百万円と非常に厳しい状況です。

| 区分          | 歳入         | 歳入歳出差引     |
|-------------|------------|------------|
| 住宅新築資金等貸付事業 | 8,000万円    | 908万円      |
| 国民健康保険      | 32億6,535万円 | -1億2,063万円 |
| 後期高齢者医療     | 2億7,388万円  | 513万円      |
| 町立診療所事業     | 4億5,334万円  | -3億3,290万円 |
| 田川郡町村公平委員会  | 207万円      | 137万円      |
| 水道事業（収益的事業） | 5億5,448万円  | 2,792万円    |

## 決算概要 財政硬直からの脱却

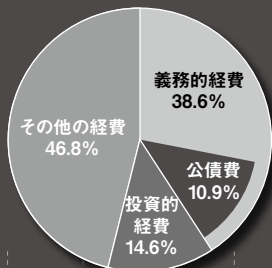
### 弾力性の高い徹底的な行財政改革を

一般会計の歳入額は178億円、歳出額171億9千万円で、翌年度に繰越すべき財源を除き、約6億円の実質収支黒字でした。ただし、前年度からの繰越金が約6億4千万円であることから、単年度の収支としては1千4百万円の黒字となります。前年度繰越金や基金の取り崩しにより実質収支黒字を計上していますが、財政力指数は全国最低水準。財政構造の弾力性を測る経常収支比率は92.9%と、類似団体平均値と比較すると依然として高く、慢性的な財政硬直からの脱却が急務な課題です。このため、平成34年度当初予算の目標を平成30年度9月補正後予算より20%（40億円）減額した値にて設定し、引き続き縮減に努めます。

## 02 一般会計歳出

### 歳出額は約171億9千万円

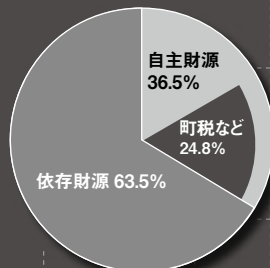
前年度に町が支出した一般会計の総額は約171億9千万円。これを性質別に見ると、人件費・扶助費・公債費の「義務的経費」が約66億3千万円で全体の38.6%、そのうち借金を返済する公債費は約18億6千万円で全体の10.9%（うち早期償還約9億5百万円）となっています。また「投資的経費」のうち普通建設事業費は昨年より4千万円増額の約25億1千万円で全体の14.6%を占めています。



## 01 一般会計歳入

### 歳入額は約178億円

町に入った一般会計の歳入は178億円でした。内訳は国や県に頼った依存財源が63.5%、町でまかなう自主財源が36.5%です。しかし自主財源には基金の取り崩し（14億4千万円）や前年度からの繰越金（約6億4千万円）が含まれています。町税などの収入は44億1千万円（うち「ふるさと納税」17億5千万円）で「ふるさと納税」を含んでもなお、全体の24.8%にとどまっています。依存財源で最も多い地方交付税は歳入全体の33.2%を占めています。



# 決算

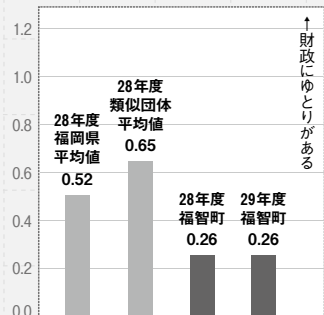
## 平成29年度 まちの財政通信簿

前年度の決算がまとまりました。歳出額は約171億9千万円で実質収支は約6億円の黒字、単年度収支では1千4百万円の黒字でした。ここで町のお金と財産の現状、今後の課題をチェックします。

## 09 財政力指数

### 全国最低水準の財政力

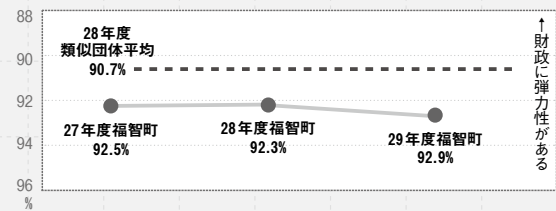
基準財政収入額を基準財政需要額で割った過去3年間の平均値が「財政力指数」です。指数が高いほど自力があり、指数が低いほど国への依存が高いといえます。町の財政力指数は28年度類似団体平均値0.65に対し0.26と全国的にも最低水準。今後、地場産業の活性化や企業誘致など、税収確保による財政基盤の強化が必要です。



## 08 経常収支比率

### 昨年度より0.6%上昇し依然危険水準

家計でいえば光熱水費など毎月確実に支出される「経費」に対し、給料など毎月決まって得られる「収入」の割合を表した数値です。本年度は92.9%と前年度より0.6%上昇しました。28年度の類似団体数値を2.2%上回っており、依然として財政の硬直化が顕著にあらわれています。今後もより一層の経常経費の削減を図ります。



## 07 滞納

### 滞納額は約28億3千万円

税金や使用料などで29年度までに納められなかった滞納額は約28億3千万円で前年度から約5千万円の減少となっています。いまだ30億円にせまる滞納解消に向けて、差し押さえや法的措置などの厳しい措置を行います。

| 平成29年度までの主な滞納額 |            |
|----------------|------------|
| 町民税            | 7,047万円    |
| 固定資産税          | 1億3,224万円  |
| 軽自動車税          | 1,775万円    |
| 国民健康保険税        | 1億8,857万円  |
| 保育料            | 4,851万円    |
| 住宅等使用料         | 3億1,104万円  |
| 住宅管理料          | 936万円      |
| 学校給食費          | 5,414万円    |
| 住宅新築資金等貸付金     | 17億3,719万円 |
| 水道使用料          | 2億5,561万円  |



**Population** **人のうごき (福智町の人口)**

- 人口 23,052 人  
前月比 +8 人  
前年比 -206 人
- 男性 11,002 人  
●女性 12,050 人
- 転入 71 人・転出 54 人  
●出生 14 人・死亡 23 人
- 世帯 11,195 世帯  
前月比 +11 世帯  
前年比 +40 世帯

※平成30年11月1日現在(住民基本台帳人口)

（お亡くなりになったみなさんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。 福智町長・福智町議会議長）  
—— 弔電はひかえさせていただいています ——

**Tax** **おさめて安心 (税の納期限)**

- 固定資産税 [4期] 12月25日 ㊦
- 国民健康保険税 [6期] 12月25日 ㊦

**Event** **テクホー net (近隣の催し)**

【飯塚市】 **2018 クリスマスマーケット in 飯塚**  
12月14日 ㊤～25日 ㊦ (JR新飯塚駅前)  
11:00～22:00 / 土日祝 10:00～22:30  
JR新飯塚駅前がクリスマスマーケット色に。ドイツビールやホットワイン、ソーセージや雑貨など販売予定です。  
企画実行委員会 ☎0949-32-8709

【田川市】 **イルミネーションの祭典**  
12月23日 ㊤～25日 ㊦ 17:00～22:00  
(彦山川<sup>ひこさんがわ</sup>ばんだごうら河川敷)  
河川美化の啓発のため、彦山川<sup>ひこさんがわ</sup>を愛するボランティア団体が巨大イルミネーションを設置します。期間中は、来場の子どもたちにお菓子をプレゼント。うどんの無料配布も行います。(無くなり次第終了)  
企画 イルミネーション実行委員会事務局  
担当 花村 ☎090-8919-7280



↑ 巨大なクリスマスツリーが期間限定で出現!

**Medical health**

## 保健の掲示板

12月16日から1月15日までの保健事業日程

- **12月19日 ㊤【1歳6か月児健診】**  
1歳6か月～8か月児を対象(個人通知します)  
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:00～14:00
- **12月20日 ㊤【ゆるーくママ】**  
ママとお子様の交流の場。0歳児とそのママを対象  
[会場] コスモス保健センター [受付] 10:00～16:00
- **12月25日 ㊤【よちよち相談】**  
身体計測・育児相談・栄養相談などの希望者を対象  
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:45～15:30
- **12月27日 ㊤【ゆるーくママ】** ※対象者は上記同様  
[会場] コスモス保健センター [受付] 10:00～16:00
- **1月10日 ㊤【ゆるーくママ】** ※対象者は上記同様  
[会場] コスモス保健センター [受付] 10:00～16:00
- **1月11日 ㊤【もぐもぐ教室】**  
4～10か月児を対象にした離乳食教室(要予約)  
[会場] 方城保健センター [受付] 10:30～12:00  
[申込締切] 1月8日 ㊤までにコスモス保健センター(☎28-9500)へお申込みください。
- **1月11日 ㊤【健康相談】**  
健診結果や介護など相談希望者を対象  
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:30～15:30

**乳がん・子宮がん無料健診 | 有効期限は2月末です!**

無料クーポン券で指定医療機関の検診を受診できる期間は平成31年2月末(医療機関の診療日)までです。  
※有効期限を過ぎると使用できません。  
※平成30年に集団健診で乳がん・子宮がん検診を受診した人は使用できません。対象者には5月に郵送しています。

☎ コスモス保健センター ☎ 28-9500

**Medical checkup**

【田川地区急患センターの年末年始診療】  
**12月30日～1月3日も診療します**

診療時間: [外科] 9:00～12:00、13:00～17:00  
[内科・小児科] 9:00～12:00、13:00～17:00  
18:00～23:00

場所: 田川市大字伊田 2735 番地 11 (田川市石炭・歴史博物館横)

☎ 田川地区急患センター ☎ 45-7199

風しんウィルスの感染が流行しています

# 「風しん」を 予防しましょう

妊娠初期の女性が風しんにかかると、おなかの赤ちゃんにも感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気があるなど「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。多くの人と接する機会のある年末年始。妊娠中の人や妊娠を希望している人とそのご家族は予防に取り組みましょう。

**30～50代の男性に流行中!**

関東地方を中心に「風しん」が流行しており、福岡県でも風しんの報告件数が増加しています。特に、30代から50代の男性が多く発症しています。風しんの予防、感染拡大防止には予防接種が効果的です。この機会にワクチン接種をしましょう。

**風しんの症状**

- 発熱、発疹
- リンパ節の腫れ

感染してから  
約2～3週間後に  
あらわれます。

予防接種をご検討ください!

▼麻しん風しんの定期接種  
1歳児・小学校入学1年前の幼児は、麻しん風しん混合(MR)ワクチンの予防接種を受けましょう。

▼妊娠を希望する女性  
接種後2か月は避妊が必要です。接種回数は幼少期の接種を含め2回です。子どもの頃に予防接種を受けたかどうか分からない場合は、2回接種して問題ありません。

▼妊娠中の女性のご家族  
妊娠中の人は風しんの予防接種を受けられません。妊婦が妊婦健診などの抗体検査で抗体価が低いことが確認されている場合は、妊婦のまわりにいる人(配偶者・パートナー・子どもそのほか同居家族)が予防接種をご検討ください。

▼風しんにかかったことがない・予防接種を受けていない・どちらも不明な成人男性  
予防接種を受けたかどうか分からない場合でも2回接種して問題ありません。特に、昭和54年4月1日以前に生まれた男性は、子どもの頃に定期接種の機会がありませんでした。

**福智町の予防接種助成制度**

平成2年4月2日以  
降生まれで、2回の接種が完了していない人は無料で予防接種を受ける助成制度があります。該当する人は、コスモス保健センターにお問い合わせください。

☎ コスモス保健センター ☎ 28-9500

町のホームページにも風しんについて掲載中!

**無料の抗体検査**

妊娠を希望する人、妊婦の配偶者・パートナーを対象に実施しています。条件などホームページでご確認ください。

福岡県 風しん抗体検査 検索



pick up 住民課からのお知らせ

無料で！  
特定健診が  
個別受診できます

特定健診をまだ受けていない人は無料で受診できます。10月末までに、町の集団健診と医療機関での個別健診を受診されていない人に「特定健診受診券」を郵送しています。定期的な受診が病の早期発見につながります。健康維持のためにも、ぜひ受診ください。



受診期間 ▶ **1月31日** まで  
対象者 ▶ 国民健康保険に加入している40歳～74歳の人  
※ 対象の医療機関は、町ホームページや郵送した一覧表でご確認ください。  
※すでに特定健診を受診されているにもかかわらず受診券が届いた場合は、行き違いですのでご容赦ください。

問 役場 住民課 保険係 ☎ 22-7761

心配ごと相談

12月15日(土)は司法書士による特別相談を実施します。特別相談は事前予約が必要。相談は無料です。  
① 日時 12月6日(木) 10時～15時  
場所 人権のまちづくり館  
② 日時 12月13日(木) 10時～15時  
場所 公民館方城分館  
③ 日時 12月15日(土) 10時～15時  
場所 金田社会福祉センター  
問 社会福祉協議会 ☎ 22-6631

補聴器相談

① 日時 12月10日(月) 11時～12時  
場所 役場 方城支所  
② 日時 12月10日(月) 13時～14時  
場所 役場 赤池支所  
③ 日時 12月14日(金) 9時～10時  
場所 役場 本庁舎  
問 役場福祉課 ☎ 22-7763

子育て支援センター行事

就学前のお子さんと保護者が対象です。祖父母、プレママの参加も大歓迎。  
① 11時開始、⑤ 14時開始、それ以外は10時30分開始です。  
① 絵本読み聞かせ ▶ 12月4日(火)  
② クリスマスコンサート ▶ 12月14日(金)  
※ 7日(金)までに要予約。  
③ 12月誕生会 ▶ 12月18日(火)

※ 12月生まれば前日までに要予約。

④ 親子リズムあそび ▶ 12月21日(金)  
⑤ 劇団バクの人形劇 ▶ 1月7日(月)  
子育てサロンを開放しています。  
▼ 月・金 10時～16時



↑ 絵本の読み聞かせや季節のイベント、お誕生日会など行事がもりだくさん。お気軽に遊びに来てください！

問 子育て支援センター ☎ 22-2401

みんなでおしゃべり会

子育てについて一人で悩まず、みんなでおしゃべりしませんか。  
日時 12月13日(木) 10時～12時  
場所 コスモス保健センター  
問 子育てアドバイザー 岸谷さん ☎ 090-7380-4558

弁護士による出張無料相談

弁護士による出張無料相談を実施します。年度内お一人一回のみ。  
日時 12月6日(木) 13時～16時  
※ 当日11時までに役場総務課へお申し込みください。  
場所 人権のまちづくり館  
問 役場総務課 ☎ 22-0555

県巡回事故相談

日時 12月17日(月) 10時～15時  
場所 田川市役所  
問 交通事故相談所 ☎ 092-643-3168

第5回 県営住宅入居者募集

今回は、新たに子育て世帯向けにリフォームした住宅の募集も行い、12月7日(金)～9日(日)に内覧会を行う予定です。詳しくは、お問い合わせください。  
申込期間 12月17日(月)～26日(火)  
案内設置場所 役場本庁2階住宅課  
赤池支所 方城支所  
問 県営住宅管理部管理課 ☎ 092-781-8029

人権のまちづくり講座

講師は一般社団法人はるむ代表の伊東良輔さんです。(参加無料)  
日時 12月18日(火) 19時～  
場所 ほのぼの館(伊方)  
テーマ 「ノーマライゼーション社会の実現にむけて」  
問 ほのぼの館 ☎ 22-6290

こころの健康相談

こころの悩みや病気について、毎

自衛官採用試験案内

試験日や試験会場がそれぞれ異なりますので、お問い合わせください。  
【自衛官候補生6次募集】  
資格 18歳以上33歳未満の人  
申込期限 1月11日(金)  
【陸上自衛隊高等工学校生徒】  
資格 中卒(見込みを含む)または17歳未満の男子  
申込期限 1月7日(日)  
問 自衛隊飯塚地域事務所 ☎ 0948-2214847

田川地区自衛隊就職説明会

保護者の方もぜひお越しください。  
日時 12月9日(日) 9時～12時  
場所 田川情報センター1階研究室  
問 自衛隊飯塚地域事務所 ☎ 0948-2214847

年末年始の斎場運営について

田川地区斎場の年末年始の休日は1月1日(火)のみです。  
問 田川地区斎場 ☎ 42-8002

危険物取扱者試験

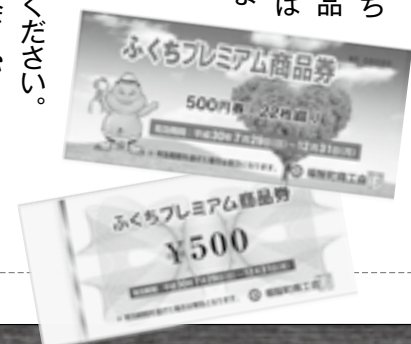
田川地区消防本部で2月9日(土)に受験に向けた準備講習会も開催。  
申込期間 12月19日(水)～1月10日(木)

月第2回と第4回に精神科医師が相談に応じています。

※ 相談無料、要事前予約  
日時 12月11日(火) 10時～  
12月27日(木) 14時～  
場所 田川保健福祉事務所 相談室(福岡県田川総合庁舎4階)  
問 田川保健福祉事務所 健康増進課 精神保健係 ☎ 42-9307

ふくちプレミアム商品券の使用期限

今年のふくちプレミアム商品券の使用期限は12月31日(月)までです。期限を過ぎると使えなくなりま



生活保護電話相談会のお知らせ

生活保護の要件、申請方法についてや生活保護受給中の借金問題について司法書士が無料で電話相談に応じます。必要に応じ、行政機関への同行などの支援も行います。  
日時 12月15日(土) 10時～15時  
問 福岡県司法書士会事務局 ☎ 092-722-4131

試験日 3月3日(回)

場所 福岡県立大学  
問 田川地区消防本部 ☎ 44-0650

ほのぼのカフェ(クリスマス会)

日時 12月15日(土) 10時～13時  
場所 やすらぎ館(伊方3042)  
※ 参加費100円です。  
問 ほのぼのカフェ実行委員会(金山) ☎ 090-1193-7933

後期高齢者歯科検診のお知らせ

後期高齢者医療広域連合では、後期高齢者の口腔機能低下や肺炎などを予防するため、歯科検診を実施しています。平成30年度の受診期限は12月末までです。お早めにご予約の上、受診しましょう。5月に郵送した受診券を持っていない人は、ご連絡ください。  
対象者 昭和17年4月1日～昭和18年3月31日生まれ(長期入院・施設入所は除く)  
受診料 300円  
※ 平成32年度まで、77歳以上の被保険者も受診可。受診を希望する人はご連絡ください。



受診期限 12月31日(月)まで  
問 福岡県後期高齢者医療広域連合 ☎ 092-651-3111



# 四季の歌

俳句・短歌教室の詠歌紹介

落の臺句会

互選

夫逝きて空ろとなりし木の葉髪  
陰雲にひかれ麓の初時雨  
崩れ築川の流れにみをまかせ  
バテ気味へ労るように桂の香  
詩は志なり菊人形の一人言  
存分に秋閑を深呼吸  
秋夕焼地蔵の帽子取り替へて  
狛犬のながき遠吠え神の留守

池田 駒女  
木村 誠一  
千手 弘子  
高津 澄子  
藤井耿之介  
松本 光雄  
宮崎富美子  
山本 弘  
(氏名五十音順)

鬼杉赤池俳句教室

岩井鬼童選

大銀杏散りても守る大手門  
巡礼の脚絆が急ぐ雁渡し  
色変へぬ松や句の道一筋に  
顔馴染ばかりや村の運動会  
横笛もお神酒に酔ふて里祭  
崇敬の稲荷信仰秋高し  
地球には引力有りと柿熟るる  
昼食はパンと牛乳爽やかに  
子らたちの夢も光らせ銀河かな  
コスモスのいろんな色がほほえんで小西田 芽生

## 福智の風

▶平成最後の12月号、時代を超える大切なものの特集しました。華やかな祭りを支えるため人知れず力を尽くす方々。伝統を存続させ、人を動かす「思い」の力を感じました。広報ふくちにもつながってきた思いがあります。いい紙面を読者に届けたい、その一心で作られた過去の広報。常にそれを参考にし、学び、目指してきました。将来の担当が見返すとき、心に響き、熱意が伝わる。そんなものを一つでも残せたらと思いました。(田代)

▶先日、高橋亜美(mon)さんの講演会を聴く機会がありました。「生きてたら必ず生きてよかったと思える瞬間がある」彼女の人間力にひきつけられ言葉ひとつひとつに力を感じました。言葉で思い伝えるのは大切なこと。家族や大切な人に「大好き」「ありがとう」「ごめんね」とストレートに伝えたいものです。広報も伝える仕事。思いが込められていたらたとえ完璧でなくても相手に伝わり心に触れる。心を込めて言葉を紡いでいきたいです。(太田)



Pickup Topics

全国の伝統的工芸品が一堂に集結する「工芸エキスポ in 福岡」が11月2日から3日間、マリネットセ福岡を中心に開催されました。会場中央には博多祇園山笠の豪華絢爛な飾り山笠(高さ約13m)が目見えし、来場者を迎えました。国指定の伝統的工芸品「博多織」「博多人形」「久留米緋」「小石原焼」「八女福島仏壇」「上野焼」「八女提灯」の7産品をはじめ、知事指定の34産品を県がPR。会場では全国の工芸品が紹介され、来場者は実演や体験も楽しめました。伝統工芸に新たな視点や感覚を取り入れる共同企画では、活躍す



↑全国大会絵画展で上野焼協同組合理事長賞を受賞した上野小3年の柴田平穂さん(写真中央)と力作のポスター。

● KOUGEI EXPO IN FUKUOKA

## 上野の魅力 全国発信



30年ぶりの福岡開催となった「第35回 伝統的工芸品月間国民会議全国大会」。各企画が県内国指定伝統的工芸品7産地で開かれ、上野焼の伝統に新たな風が吹き込まれました。

るクリエイターや県内の大学生とコラボ。上野焼は西本早希さんとハイボールグラスを創作し、福岡大学と先端技術を活用した器などを披露しました。伝統工芸振興の大きな契機として期待された全国大会。現代感性と融合した伝統美と技の魅力が発信されました。

ばあった  
福智町の魅力を  
ご紹介！

●時を超え舞い継がれる伝統

稲荷神社  
奉納獅子楽

宝暦年間(江戸時代)より続くといわれ、毎年10月に行われている金田稲荷神社の神幸祭で奉納される獅子楽です。安政5年(1858)に虚無僧の山本平八が振興を図り、現在稲荷神社奉納獅子楽保存会により継承されています。

●観光サイト「ゆた～つとふくち旅」へ→

文化財編

1200年近い歴史をもつ稲荷神社の境内で奉納

神幸祭と山笠をはじめ引き手の心を盛り立てるみやびな音色の稲荷神社祭囃子とともに、福智町の無形民俗文化財に指定されています。

町の魅力はHPもチェック！

世にうとき一人身となり若き等の会話に驚きとまどひてをり  
白露すぎカマキリ・カエル地より出で庭掃くわれを驚かしたり  
秋の朝居合いの木剣つくらむと椿木求め林に入りぬ  
与えらるるパン待ちあるるか駅の鳩屋根に並びてじつと下見る  
台風の襲来おそるる季節すぎて秋を楽しむとり広がる  
空高く賑はふ子供の声響き休耕田に秋桜の花  
裏山の森より「デデポー」「デデポー」と山鳩の鳴き秋の来たり  
柿すだれ大根すだれもほのぼのとわれ待ちくるるふる里のあり

桑野 昭子  
福田 キヨ子  
白石 清和  
白石 信子  
村上 美幸  
越智 早苗  
福田 昌  
三村 和子



## 第12回 福智町グラウンドゴルフ大会決勝 勝敗が一打で分かれる白熱の決勝戦

赤池・金田・方城の各地区予選を勝ち抜いた30チームによるグラウンドゴルフ大会決勝が11月11日に赤池グラウンドで行われました。予選から延べ647人が参加した大会は、決勝になりさらに白熱。スコアから目が離せない好勝負は新門上（方城）が西古門常会A（方城）との1打差の接戦を制し、初優勝を飾りました。



↑ 最長50mの16コースを回り、ベストスコアは34というハイレベルな展開に。

↓ 減反の休耕田に咲くコスモスは秋晴れにも恵まれ、青空にいつそう映えました。



## コスモスフェスタ 畑一面ピンクのグラデーション彩る

弁城地区で同営農組合主催のコスモスフェスタが10月21日に開かれました。催しにあわせて老人会方城支部が、会場をゴールにしたハイキングを初開催。参加した約50人が満開のコスモス畑をめながら食事を堪能しました。また、しし汁販売や枝豆の袋詰め放題などの企画もあり、来場者の心とおなかを満たしました。

↓ 絵画や書など3千点以上の自信作が金田体育館と公民館金田分館にズラリと並んだ「作品展示」。



## 第12回 福智町文化祭 個性光った文化の祭典



福智町文化連盟主催の文化祭で「作品展示」「歌謡・詩吟発表会」「ふれあいコンサート」「芸能発表会」「囲碁大会」が11月中の3週にわたって開かれ、活動の成果が披露されました。作品展示では敷地内に10数店舗の露店が並び、1000人以上の来場者が個性豊かな作品とグルメを堪能。一人ひとりの表現に触れ、芸術の秋、食欲の秋にふさわしい週末となりました。

## 田川地区暴力団等追放総決起大会 暴力団追放誓い心あわせて一致団結

田川地区合同の暴力団等追放総決起大会が地域交流センターで11月14日に開催され、約300人が参加しました。県暴力追放運動推進センターの敷正孝専務理事が「ヤクザと暴力団」と題して講演。「暴力団は減っているがゼロではない。地域ごとに暴迫のスクラムを組み、協力することが重要」と訴えました。



↑ 参加者全員で「暴力団を利用しないぞ!」「恐れないぞ!」などと力強く唱和。

↓ 保護者の協力でクレーンやパワーショベル計4台を使い、数10トンの土を整備。



## We Love 伊方 project 第1弾 手づくりで整備した伊方小なかよし広場

小石が多かった伊方小の中庭「なかよし広場」をPTAと地域住民が一体になって10月から約2か月かけて整備しました。益田茂校長は「児童たちが安心して遊べる場所をつくるため、予算がない中、地域と保護者の大きな協力があって実現できた。このつながりを大事にしたい」と整備された中庭を前に、目を細めました。

## フクチ夢バルーンフェスタ 気球とともに子どもたちの夢ふくらませ

商工会主催のバルーンフェスタが11月17日に方城グラウンドで開催されました。熱気球飛行体験やヒーローショーのほか、15店舗が連なったフードコートやミニ鉄道体験などで大にぎわい。今回は周防警察犬訓練所による警察犬パフォーマンスが初披露され、約2500人の家族連れが多彩な企画を楽しみました。



↑ 訓練士の号令に忠実に従い、さまざまな障害物を軽やかに乗り越える警察犬。

↓ 災害時に何ができるか、どうすべきかを子どもたち同士で真剣に考え議論。



## 金田地区リーダー研修会 避難所運営ゲームで災害対応を学ぶ

子育て連金田支部主催の「リーダー研修会」が11月10日から2日間ふれあい塾で開かれ、金田の小中学生39人が参加しました。今回、男女共同参画ネットワーク春日から講師を招き、災害発生時を想定した避難所運営ゲーム（HUG）を初実施。自分たちにできることは何かを考え、意見を交わし、災害時の心構えを学びました。





浦田 雪乃ちゃん①  
H29.12.26 生 (神崎 神崎2)



二川 奨くん①  
H29.12.22 生 (赤池 板屋団地)



西田 迅くん①  
H29.12.17 生 (金田 上金田)



池田 仁虹ちゃん①  
H29.12.17 生 (金田 新町)



荒木 竣惺くん①  
H29.12.13 生 (神崎 神崎2)



榎本 恋桜ちゃん①  
H29.12.11 生 (伊方 新門)

HAPPY BIRTHDAY

12 月生まれ

ふくち玉手箱  
**Fukutama**

みんなでつくる  
ごきげんなページ“ふくたま”



福間 心優ちゃん③  
H27.12.16 生 (弁城 草場)



内納 杏ちゃん③  
H27.12.15 生 (金田 人見)



松村 昊音くん③  
H27.12.6 生 (金田 新町)



木本 百奏ちゃん③  
H27.12.5 生 (神崎 神崎1)



船原 冬磨くん②  
H28.12.10 生 (伊方 野添)



桑野 友希ちゃん②  
H28.12.6 生 (金田 東金田)



小林 小桜ちゃん②  
H28.12.2 生 (弁城 迫)



松本 萌愛ちゃん①  
H29.12.29 生 (伊方 東ヶ丘)

## 上野小児童が風船にのせ広げた人権意識

→県外からも返信が届く「風船」



田川人権擁護  
委員協議会主催  
の人権教室が11  
月5日に上野小で  
行われました。紙  
芝居などでの学習  
後は、手紙と人権

の花・ひまわりの種を添えたエコ風船を両手に校庭へ。一  
斉に大空へ舞い上がる風船を思いを込めて見送りました。

## 笑顔募集中!

- 申込期限は毎月お誕  
生月の前月10日(土・  
日・祝日の場合は翌開  
庁日)。1月生まれのお  
子さんは1月10日 困  
● までに写真またはデー  
タを提出してお申込み  
ください。(締切厳守)  
● ▶ 広報係 ☎ 22-7766



平島 崇平くん③  
H27.12.29 生 (金田 上金田)



植高 祐ちゃん③  
H27.12.27 生 (金田 上金田)



立花 美舟ちゃん③  
H27.12.21 生 (上野 血山)



久富 千里くん③  
H27.12.18 生 (金田 本町)



米家 瑠璃華ちゃん③  
H27.12.18 生 (神崎 南木)

## そよ風保育園マラソン大会で0歳児も快走

→補助なしでも力強く走る0歳児



そよ風保育園で  
14回目のマラソン  
大会が11月2日に  
開催されました。  
今年初参加の0歳  
児も全員完走す  
るなど、園児総勢

103人が出場し、練習の成果を発揮。大会後、練習から  
がんばってきた園児に「がんばりました賞」が贈られました。

## グラウンドゴルフでいつまでも健康に



→地区を越えた交流も魅力の一つ

老人クラブ連合  
会主催のグラウン  
ドゴルフが10月  
30日に方城グラ  
ウンドで行われま  
した。会員の交流  
と健康促進を目的

に年2日開催し4年目。平均年齢77歳の会員113人が  
和やかに競技し、丸山チームBの優勝で幕を閉じました。

## これはユニーク! 珍しい柿が実りました

→普通の形と比べ珍しさ際立つ柿



元赤池町長の  
水永康雄さん(市  
場)宅の庭に、珍  
しい柿が実りまし  
た。三つや四つに  
分かれ、角度に  
よって色々な形に

見えるユニークな柿。品種は富有柿で、大人の両手にお  
さまる立派なサイズです。実りの秋の心和む話題でした。

## 地域の絆深めた野添地区大運動会



→玉入れ道具などは伊方小が協力

野添老人クラブ  
主催の大運動会  
が、野添児童公園  
で10月26日に開  
けられました。地域  
交流の一環で54  
人が参加。和気あ

いあいの雰囲気の中、紅白に分かれ、風船割りやパン食い  
競争、玉入れなど、童心にかえって7種目に汗を流しました。



外装は原風景に映える深紅のメタリックカラー！

ボディーは深紅のメタリックで全ツヤ鏡面磨き。最も視認性が高く、自然の中で美しい色です。平成18年製の車両2両(なのはな号)を設計改造し、車両メーカーの高度な技術で塗装。

DESIGN



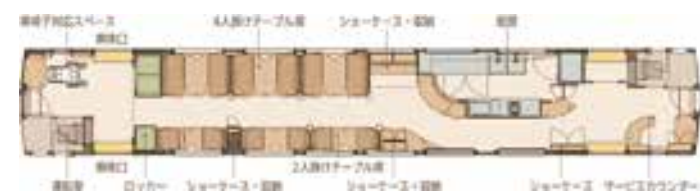
BODY

車両庫で塗装したばかりの深紅の鏡面ボディー。沿線の自然豊かな原風景を映しながら走る姿が今にも想像できます。

日本初、いや世界初ともいわれる天井彩るステンドグラス！

「ことこと列車」の車内を見上げると、世界初の試みともいわれている色鮮やかなステンドグラスがあなたを迎えます。

CAR NO.1



繊細な大川組子をふんだんに、組子の組床は九州初！

大川市の大川組子を床や仕切りに使用。低予算の中、「ななつ星」を手がけた職人さんの心意気で今回の装飾が実現しました。

CAR NO.2



上野焼の器に久留米<sup>かすり</sup>餅のスタッフユニフォームなど福岡が誇る伝統的工芸品を満載！

福岡・九州の素材にこだわり、制服や器に福岡の伝統的工芸品が用いられます。車内でもオリジナルグッズを販売予定です。

UNIFORM (PLAN)



AGANO WARE

料理の器を制作している上野焼<sup>うえのやき</sup>庚申窯の高鶴裕太さん(上野)。要望にこたえるため、試作を繰り返しながら来春の運行に向けて作陶中です。どんな器になるか楽しみに！



HEICHIKU

世界一ゆっくり旅する列車が福智を走る

ことこと列車 来春運行

平成筑豊鉄道(本社・福智町)が観光レストラン列車を来春3月から運行開始。世界から愛されるオンリーワンの列車がゆっくりコトコト走ります。

定員：48人  
運転区間：直方～行橋(第1回)  
運転期間・本数：土日祝(1日1便)

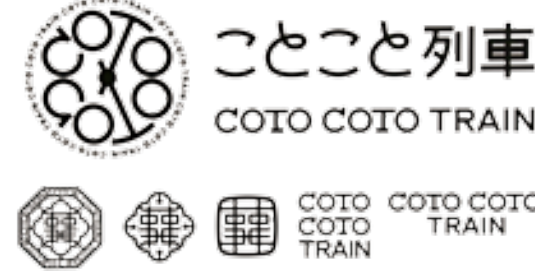


Designs & Illustrations by  
Eiji Mitooka + Don Design Associates

観光列車のネーミングは「ことこと列車」に決定！

「ことこと列車」は数ある候補の中から、1度聞けば覚えるネーミングということで採用されました。「こと」には3つの「事」の意味を含み、「祭事・物事・人事」を乗せ、自然豊かな原風景の中を時速20kmでゆっくりゆっくり走ります。沿線の田園風景とともに地元食材を使った料理を約3時間かけて堪能でき、懐かしい古き良き時間と空間の列車の旅を提供します。

LOGO



デザイナーはなんと、あのJR九州「ななつ星」を手がけた水戸岡<sup>みと おかえい</sup>鋭治さん！

地元沿線のみなさんに乗ってもらいたい

沿線を元気にするのがテーマです。初めて平成筑豊鉄道に乗ったとき、こんなに美しい田園風景があるのかと、とても驚きました。これまで JR 九州で30年以上積み重ねてきたものすべてを注いでいます。「ことこと列車」が地域の観光の核となり、地域の自慢の列車となることが私の願い。ぜひ、地元沿線のみなさんにまず乗っていただきたいですね。



PARTNERSHIP

水戸岡さんと平成筑豊鉄道河合社長は数十年の交流があり「河合社長の依頼だったから今回の話を受けた」と二人の信頼関係がにじみ出た発表記者会見でした。



# 4市町の水道事業統合へ

来春、水道課が広域水道企業団になりますが  
事務所や手続き、支払い方法は変わりません

問 福智町役場 水道課 ☎ 22-7769

## 水を守る

半世紀をかけて完成した県営伊良原ダム(みやこ町)。水利権をもつ田川地区水道企業団の配水により、4月から福智町に上質なダムの水が届いています。

### 田

川市、川崎町、糸田町、福智町の1市3町で水道

事業を来年4月から統合します。人口減少による事業収入の先細りや老朽化した水道管の更新にかかる経費増を見据え、広域化での安全安定・安価な水の供給をめざします。

4市町は現在「田川地区水道企業団」を赤村に設置して上水道事業の一部を共同処理していますが、各市町で独自浄水場も運用し、水道事業を別々に運営しています。

今後の人口減少で、給水人口は2015年度の9万人余から約20年後には15%ほど減る見通しで、水道料金収入が減る一方、高度経済成長期に整備した管路や施設の更新を控えています。そのため「田川地域水道事業統合推進協議会」を設け、より良い広域化のあり方を協議してきました。

これを踏まえ、統合後の2023年までには既存の浄水場(1市3町)13施設を田川地区水道企業団と新施設(田川市の白鳥工業団地)の計2施設に集約。取水施設は15から5へ、配水池・調整池は37から29へ、加圧ポンプ施設は24から14へ削減し、維持管理費の負担を減らす計画です。

施設などの整備費は、統合すれば38億円ほど安く抑えることがで

き、住民負担も国からの交付金などで140億円ほど軽減されるとみられています。現行の料金体系のままで、2021年度から赤字になる見通しですが、統合すれば2027年度までは黒字を確保できる見込みです。

協定では、2019年度に「田川広域水道企業団」を創設し、新たな浄水場の完成を待つ、2023年度から統一の水道料金になります。ただし、統合後の料金が統合前の料金を超える場合は、経過措置として5年間、旧料金を適用することも盛り込まれています。

これに伴い、来年4月から「福智町役場 水道課」はなくなり、「田川広域水道企業団 福智町水道事務所」が設けられる予定です。



10月9日に開かれた水道事業統合の協定書締結式。右から協定書を交わした嶋野勝・福智町長、二場公人・田川市長、手嶋秀昭・川崎町長、佐々木淳・糸田町長。